

目指す10年後のまち

＝総合計画基本構想(平成18年(2006年)～平成27年(2015年))＝

総合計画は、市の将来を長期的に見通したビジョンと、それを実現するためのまちづくりの基本方針を示したものです。

この総合計画の内、10年後の「まちの将来像」と「まちづくりの基本目標」を定めた基本構想を

6月市議会へ上程し、可決されました。

今後も市民の皆さんや各種団体の皆さんと意見交換をしながら、

基本構想を実現するための前期基本計画(5年間)の策定に取り組んでいきます。

◎企画政策課企画係 44-3105

まちの将来像

「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」

袋井は、豊かな自然や伝統文化などの地域資源に恵まれるとともに、長年にわたり積み重ねられたまちづくりの成果が、地域の多様性と個性を創出しています。

地域の特性を最大限に生かし、市民や地域、行政などがそれぞれの役割を担い、同じ目標に向かってまちづくりに取り組んでいくことが必要です。そのため、「自らのまちは自らが創る」という自覚と行動力によって、人づくりや産業づくりなどの新たな活力を創出し、市民の力と地域の力で、「日本一健康文化都市」を実現する志を持ち、広域的な視点から中東遠地域の発展に貢献できる中軸都市を目指して、まちの将来像「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」を掲げます。

【日本一健康文化都市の理念】

健康文化都市とは、心と体の健康はもとより、家庭や地域が温かく、都市と自然が調和するなど、人もまちもすべてが健康で、この地に暮らすみんなが、郷土に対する「誇り」と「喜び」を感じ、生活の向上と地域の発展を志向していくまちのことです。

健康文化都市を実現するため

には、共生・協働・交流をもつて、みんなで人づくりとまちづくりに取り組むことが必要であり、高い志の下に、明確な目標

総合計画策定までの経過

平成17年7月
 ・「施策二
 ズ調査」を
 行い、まち
 の現状と課
 題を整理す
 るための基
 礎資料づくりを開始



7月13日
 ・総合計画策定委員会を市役所
 に設置

8月27日
 ・市民自らがまちづくりを考
 える「市民まちづくり塾」を立ち
 上げる

9月26日
 ・学識経験者25人からなる「総
 合計画審議会(会長 塩田進
 静岡岡理科大学学長)」を発足

11月7日
 ・市長が「総合計画審議会」に
 基本構想(案)を諮問



11月
 ・施策二ズ調査の結果をもと
 に「現状分析書」をまとめる

11月5日~19日
 ・市内13公民館で「まちづくり
 タウンミーティング」を開催

平成18年3月5日
 ・市民まちづくり塾、総合計画づ
 くりに向けた市民

提議と協働のまちづくり計画」を
 発表



4月20日
 ・「総合計画審議会」から基本
 構想の答申を受ける

5月20日
 ・市民まちづくり塾が「協働の
 まちづくり行動計画」づくり
 を開始

6月22日
 ・総合計画基本構想を市議会に
 上程、可決

6月23日~25日
 ・総合計画住民説明会を開催

6月27日
 ・総合計画審議会に基本計画
 (案)を諮問

9月(予定)
 ・総合計画(基本構想・基本計
 画)完成

基本構想

まちづくりの基本目標

「みんなが健康で安心して暮らせる住みよいまち」

市民みんなが健康で、生きがいをもって安心して暮らせるまちを築くため、快適な生活環境の創造と自然環境に配慮した都市基盤の整備を図ります。
 また、福祉や医療サービスが充実した、災害に強く、犯罪のない安全で安心できる社会を実現し、だれもが住みよいまちづくりを目指します。

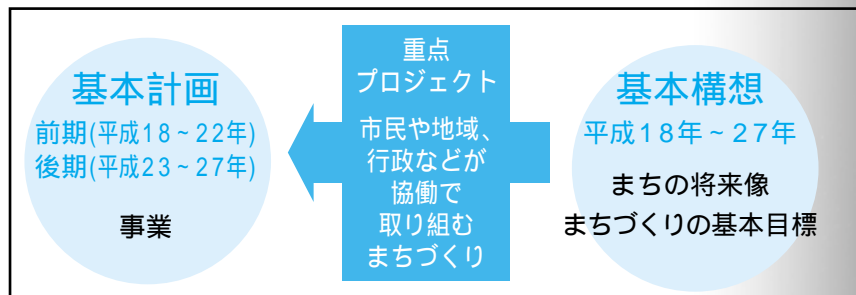
「未来を拓く心ゆたかな人と活力ある産業が支えるにぎわいのまち」

ゆたかな心と、確かな知識と知恵を身につけた、たくましい人材を育みます。
 さらに、産業の担い手の育成や既存産業の革新と新たな産業の創出を促すことにより、にぎわいのあるまちづくりを目指します。

「ともに支え合い力を合わせて地域の発展につくすまち」

これまで培われてきた「市民の力」と、自然や歴史・伝統文化などの「地域の力」を活かし、市民・地域・行政がともに支え合い、力を合わせてまちの発展を目指します。

総合計画の構成



を持ち、自らが胸を張って誇れるまちを築くため、日本一を掲げていきます。

総合計画に関するご意見・ご感想をお寄せください。

✉ sogo@city.fukuroi.shizuoka.jp